

【 第3回 看護研究・看護実践発表会抄録原稿作成の手引】

看護研究

1. 紙はA4版を用い横書きとする。別紙（1）の様式で作成してください。
埼玉県看護研究学会抄録原稿作成方法に準じる。（但し本文文字サイズは11ポイント）
2. 1題につき、図・表・参考文献を含めて**必ず2枚**にまとめてください。

看護実践報告

1. 紙はA4版を用い横書きとする。別紙（2）の様式で作成してください。
埼玉県看護研究学会抄録原稿作成方法に準じる。（但し本文文字サイズは11ポイント）
2. 1題につき、図・表・参考文献を含めて**必ず1枚**にまとめてください。

共通事項

1. 原稿はパソコン・ワープロで鮮明に書いてください。
尚、パソコンでのカラー作図等は色彩が出せないので白黒で作成してください。
2. 共同発表の場合は、当日発表者氏名の前に**〇印**をつけ、その後に共同発表者の名前を記載して下さい。
提出期限、**2025年8月4日(月) 締め切り** になります。
3. 原稿構成
 - 1) 文字サイズは、**11ポイント**とし、和文フォントは明朝体で全角文字、英文およびアラビア文字は半角文字としてください。
 - 2) 文節の始め方は、Ⅰ、Ⅱ・・・1, 2・・・1) 2)・・・①, ②の順とし、文中および図表の中の数字はアラビア数字（1 2 3・・・）またはローマ字（Ⅰ ⅡⅢ・・・）を用いてください。
 - 3) 文献は、引用文献を区分して提示してください。引用文献は引用順に番号をつけ、本文引用の肩に¹⁾ ²⁾などで示し、本文原稿の最後一括して引用番号順に記載してください。
 - 4) 文献の記載方法は下記の例示のように記載してください。
 - (1) 雑誌の場合・・・著者名：表題名、雑誌名、巻（号）、頁、発行年（西暦）
 - (2) 単行本の場合・・・編著者名：書名（版）、発行所、頁、発行年（西暦）
 - (3) 訳本の場合・・・原著者名：書名（版）、発行年、訳者名、書名（版）発行所、頁、発行年（西暦）
6. 研究における倫理的配慮とその記述方法
 - 1) 先行文献を調べて活用してください。
既に研究結果が出ているテーマを繰り返し研究することは倫理的にも問題があると考えられます。そのため、研究課題を選考文献から調べた上で研究のオリジナリティや価値、位置づけを明らかにし発表の意義を明確にすることが大切です。文献検討の結果を「はじめに」・「考察」・で適切に引用しましょう。
 - 2) 研究フィールドや研究対象者を特定されないように配慮してください。
 - (1) 施設名や職場名は「A病院」「B病棟」のように匿名化した表記とします。「当院」「当病棟」等の表現は、研究者の所属を見ることから研究フィールドが特定され、固有名詞を使用していることと同じです。
 - (2) 研究対象者はイニシャル等を使用せず、「A氏」「B氏」のように匿名化した表記とし、特定できないようにします。

- (3) 写真等を掲載する場合は、研究結果を示すためにどうしても必要な場合のみとし、掲載することで研究対象者が特定できないよう十分配慮し、掲載の承諾を得られた旨を明記してください。

3) 研究対象者の個人情報を保護してください。

研究対象者へのプライバシーの配慮として、不必要な個人情報を公表しないようにしてください。
入院および退院の情報が必要な場合は、年月日ではなく入院期間を記載するなどの配慮が必要です。

◆個人情報の取り扱いとは、次項を参考にしてください。

- (1) 個人情報保護法
- (2) 「看護研究における倫理指針」(日本看護協会、2004)
- (3) 「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」
(厚生労働省、2010)
- (4) 「看護職の倫理綱領」(日本看護協会、2021)
- (5) 「臨床研究に関する倫理指針」(厚生労働省、2008)
- (6) 所属施設の規定

4) 研究対象者への説明と自由意思による同意を得たことを記載してください。

研究の目的、方法、期待される結果と対象者にとっての研究協力に関する利益、不利益を研究対象者へ伝えた上で、研究の実施と公表についてどのように同意を得たか、具体的なプロセスを明確に記載する必要があります。研究協力への同意は強制ではなく、自由意思であることも記載する必要があります。学生を対象とした研究の場合も、患者を対象にした時と同様の配慮が求められます。

- (1) 入院中に病棟の看護ケアの質評価を無記名で依頼を行っても入院中の患者が自由意思で調査への参加を決定したとは判断しにくいいため退院時にこの調査を依頼するなどの工夫が必要になります。
 - (2) 教員が学生に調査を依頼する場合も授業中に行うことや、担当科目の教員が調査依頼を行うことは、自由意思を損なうことにつながりかねないため、十分に配慮し、またどのような配慮を行ったかを具体的に明記する必要があります。
 - (3) 研究への同意が適切に判断できない状態にあると考えられる対象者の場合は、代理人もしくは代理人が存在しない場合には病院の倫理委員会等で承認を得た事実を記載する必要があります。また、研究依頼時には適切に判断できない状態であっても、回復とともに判断できる状態になれば、その時点で研究協力の同意を対象者から再度得る必要があります。
 - (4) 看護師へのインタビューを行った研究において、自分たちが看護ケアを行った患者に関する情報を詳細に述べるような場合には、その患者にも研究の同意を得ておく必要があります。しかし何らかの理由でその患者から同意が得られない場合には、家族もしくは病院の倫理委員会等で承認されることが必要です。また過去のデータを分析する場合にも可能な限り研究対象者からの同意を得ますが、それが困難な場合には病院の倫理委員会等での同意が必要となります。
- 5) 倫理委員会での承認を受けたことを記載してください。
- (1) 研究に際しては、一般的に所属施設の倫理委員会の承認を得て実施することが求められます。特に人間や動物を対象とした研究、研究施設の内部データを使用する等の倫理的な配慮が重要となる研究を行う場合には、倫理委員会等（倫理委員会がない場合にはそれに相当する複数の

第三者による組織的了解を得ること)で承認を受けていることを明記してください。

- (2) 研究の実施だけでなく結果の公表(発表)に関しても、研究対象者および研究施設の承諾が必要です。倫理委員会の名称は匿名とはせず実名を用いて正確に表記しますが、倫理委員会の実名を表記することで研究対象者が特定される可能性がある場合には、「所属施設の倫理委員会」等の表記としてください。

- 6) 研究への参加によって対象者に負担や不利益がないように配慮したことを記載してください。
倫理委員会での承認を受けたことの記載のみでなく、対象者の負担や不利益を避けるために配慮したことを記載します。研究協力依頼の内容と方法、予測されるリスクへの対応(中止基準の設定等)、研究データの取り扱い、質問紙の回収方法等、研究結果の公表等、研究の全過程においてどのような倫理的配慮を実施したかを簡潔に記載する必要があります。

- 7) 著作権等の侵害がないように配慮してください。
文献から図・表や本文を引用する場合は、著作権に配慮し、転載許諾を得た上で出典(文献)を明記してください。既存の尺度を使用する場合は、必要に応じて尺度の作成者から許諾を得たこと、または、出典(文献)を明記し、作成者から許諾を得たことを必ず明記した上で尺度を改変して使用してください。また、原則として薬品や検査器具等は一般名称を用い()内に商品名と登録商標の場合は「®」を記載してください。

《個人情報の取扱いについて》

参加申込、演題申込書により本会へお知らせいただいた個人情報は、参加受付・本会に関する通知・抄録の発送・問い合わせ等のみに利用します。個人情報保護法等関係法令を遵守し、紙媒体を破棄する場合、読み取り不能にした上で破棄し、電子媒体(PC)の場合は、特別のソフトウェアを使用し完全に消去するか、物理的に使用不可能にして廃棄します。

以上

A handwriting practice sheet featuring 20 rows of circles. The first row contains 20 circles, and each subsequent row contains 21 circles. A pencil icon is positioned in the top right corner of the page.

VI. 考察

[illegible][illegible]

VII. 結論

1. 
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。
2. 
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。
3. 
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○。

VIII. 引用文献

- 1) 安全太郎: リスクマネジメント, 日本安全協会, p24-2, 2004.
- 2) 予防次郎: 安全な療養環境, 安全設計協議会, p192-194, 2002.
- 3) 前掲書 1), p30.

別紙2 看護実践報告様式

余白
上・下 20 mm
左・右 25 mm

表題文字
フォント 14P

文字フォント 11P で2行空

さいたま県央支部病院

○伊那 陸子・上尾 海子・行田 空子

I. はじめに

書式2段組 20字×30行×2
文字フォント 11P

○検討したので報告する。

II. 目的

○することを
目的とする。

III. 実践

IV. 倫理的配慮

V. 結果

図表ごと通し番号を付ける
図・グラフは白黒で タイトル位置 図は下

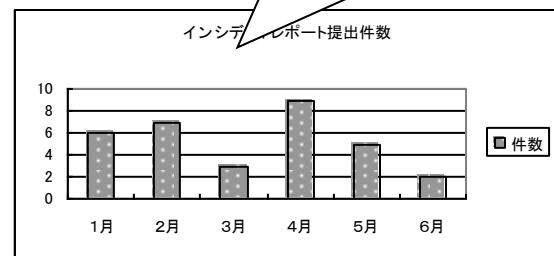


図1 提出件数

タイトル位置 表は上

表1 インシデントレポート レベル別件数

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
1月	3	2	1	0	0
2月	3	4	0	0	0
3月	1	2	0	0	0
4月	4	3	2	0	0
5月	1	1	2	1	0
6月	1	1	0	0	0

VI. 看護実践への示唆

VII. 引用文献

- 1) 安全太郎: リスクマネジメント, 日本安全協会, p24-2, 2004.